

講師からのメッセージ

1. 喜びと悲しみ～あなたは何を喜び、また何を悲しみますか？

「喜んでいる者たちとともに喜び、泣いている者たちとともに泣きなさい。」

ローマ人への手紙 12:15-16

何に喜びを感じ、また何を悲しむのかは、人それぞれの違いがあります。しかし人間が抱くこうした対照的な感情のことを考えた時、私たちは往々にして始まりや発見、完成の時に喜びを感じ、その反対に終わりや喪失、そして失敗に痛みと悲しみを感じるのではないのでしょうか？ まさに人生は生まれるという最大の喜びで始まり、やがて死という絶対の悲しみで幕が閉じられます。その時々にある喜びと悲しみが人生に彩を添え、その喜びと悲しみに寄り添ってくれる存在が人生に幸せを運びます。冒頭の聖句はそのことを私たちに悟らせ、またすすめています。私たちはこのような人になりたいと思います。

2. 喜びと悲しみを結ぶもの～あなたには神の時を知っていますか？

「すべてのことには定まった時期があり、天の下すべての営みに時がある。～泣くのに時があり、笑うのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある。～神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行うみわざの始まりから終わりまでを見極めることができない。」

伝道者の書 3:1～11

このように人生は喜びと悲しみの連続、積み重ねということが出来ます。私たちは出会いに笑顔をつくり、別れに涙します。人が行なうことには限りがあるからです。それゆえに聖書はこの喜びと悲しみを結び合わせる神の計画と導き、つまりすべてに時があり、そのすべてが神によって定められた美しい時、最善の時であると語ります。

3. 罪を悲しみ、救いを喜ぶ～あなたにはまことの平安がありますか？

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。」

ローマ人への手紙 3:23-24

人間の最大の悲しみが死であるとするならば、最高の喜びはその死に対する平安と解決ではないのでしょうか？ 聖書はその答えがキリストの十字架であると語ります。人の罪ゆえの死(悲しみ)は、神の愛によってもたらされる贖い(喜び)によって永遠のいのち(平安)へと変えられます。これが信仰がもたらす救いの喜びです。ぜひこの救いを神さまからいただいてほしいと心より願っています。

幕張聖書バプテスト教会 牧師 上山 要

* 手話通訳、駐車場、エレベーター、車椅子用トイレ、ベビールームがあります。

【定例会集のご案内】どなたでも参加できます。

- 日曜日
午前礼拝: 午前10:45～12:15
午後礼拝: 第1・第3日曜 午後2:30～4:00
- 水曜日 祈り会: 午後7:30～9:00
- 木曜日 婦人集会: 午前10:00～12:00
- 第3土曜日 壮年集会: 午後2:00～4:00
- 月末日曜日 青年集会: 午後1:00～3:00



- 小田急バス: 武蔵境駅南口—浄水場—拍江駅北口
 - 京王バス: 武蔵小金井駅南口—浄水場—調布駅北口
 - 京王線西調布駅から徒歩 7分
 - 京王線飛田給駅から徒歩15分
- * タクシーご利用の場合は教会名と住所をお伝え下さい。



十調布聖書バプテスト教会

伝道牧師: 片山大輔

〒182-0035 東京都調布市上石原1-17-1

☎ 042(487)3202 Fax 042(486)5032

付属 こひつじ幼稚園 ☎ 042(487)3219